

2023年5月24日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社
株式会社三菱UFJトラスト投資工学研究所

日本ファイナンス学会 第31回大会プログラムで
「ソブリン債投資におけるESG評価と市場リスク」について論文報告を行いました

三菱UFJ信託銀行資産運用部樋口裕之、鴻丸靖弘、長谷川健人が、この度三菱UFJトラスト投資工学研究所須田真太郎、北島貴一とともに「ソブリン債投資におけるESG評価と市場リスク」について、日本ファイナンス学会第31回大会で論文報告を行いました。

ESG投資における評価やパフォーマンスは主に個別株に集中する中、ソブリンESGに関する論文は世界でも非常に稀であり、発展途上の分野であると言えます。また、それを運用に活かした事例は貴重なものになります。三菱UFJ信託銀行資産運用部外国債券運用G（以下同G）では、三菱UFJトラスト投資工学研究所と協業し、同分析について今後もさらに深化させ運用パフォーマンスの向上を図ると同時に、同分野の研究・対外発信を行うことでソブリンのESG分野の発展に貢献したいと考えております。

同GではFTSE外国債券ベンチマーク運用において、世界20か国以上に投資する中、従来から用いられている各国のマクロ経済分析に加え、先行きのマネーフローを予測すべく地政学分析に重きを置き、足許高パフォーマンスを上げております。地政学の分析においては、現在の国際情勢に加え、歴史認識、貿易フローなど様々な要素が絡み合い、各国の潜在的な地政学リスクを横比較することは運用者のスキルに依存するところがあります。そこで今般、ソブリンのESG関連指標を用いて定量的に各国の潜在的なリスクを測り、特定の局面において同尺度がその潜在的なリスクを示唆することを観察いたしました。同分析の要素は既に同Gにおいて定性判断のベースになっている他、各国のモニタリングに使用されております。

▶ 日本ファイナンス学会 第31回大会プログラム

https://nfa-net.jp/wp-content/uploads/2023/05/nfa31_2023_program.pdf

▶ 報告者・共著者

- ・三菱UFJ信託銀行 資産運用部 外国債券運用G

主に年金のお客様を中心に、外国債券のファンドを提供。マクロ経済、地政学、クオンツ分析などを強みとし、足許高パフォーマンスを記録。

チーフファンドマネージャー：樋口 裕之 シニアファンドマネージャー：鴻丸 靖弘

ファンドマネージャー：小澤 慧祐 ファンドマネージャー：長谷川 健人

- ・三菱UFJトラスト投資工学研究所

親会社である三菱UFJ信託銀行やMUFGグループを中心とした金融機関のお客様に対して資産運用やリスク管理、データサイエンス領域の調査・研究サービスを提供。

研究員：須田 真太郎

研究員：北島 貴一